

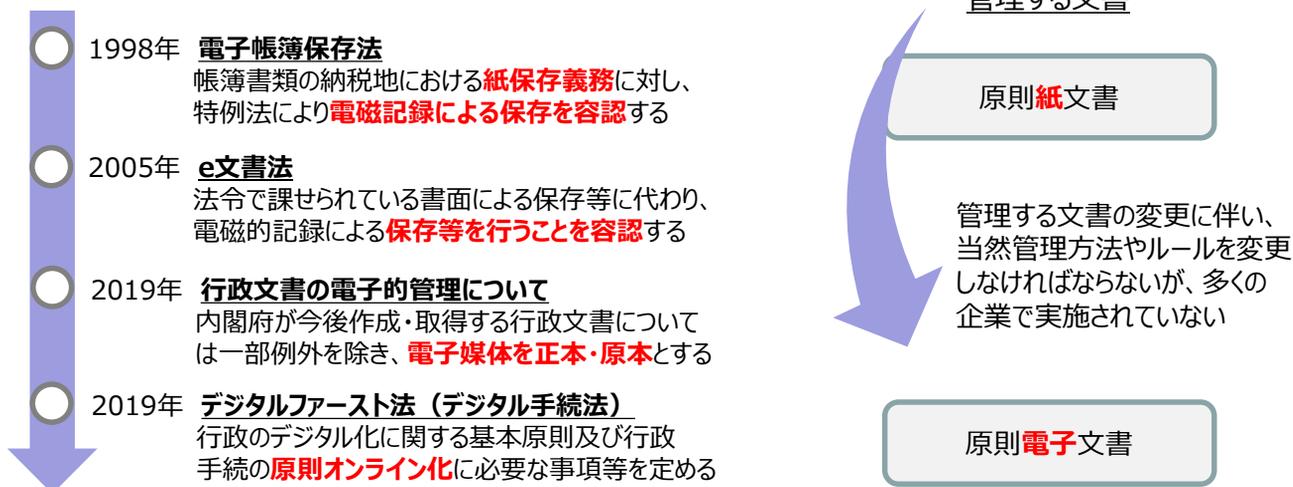
完全電子化の未来を見据えた 文書管理ソリューション

豊富な経験とノウハウから導き出された文書管理に必要な3つの要素「**原本性**」「**検索性**」「**合理性**」を考慮し、業務効率化とリスクマネジメントを両立させた文書管理を実現いたします。

文書管理の進む方向性と企業が抱える課題

- 1990年代末から電子帳簿保存法やe文書法といった紙文書の電子保存に関する法整備が進められ、2019年のデジタルファースト法施行により、今後、文書は保存のみならず作成から廃棄までを一貫して電子データで行う方向に変化します。この変化は**証跡原本が紙から電子データに代わることを意味し、文書管理方法そのものを見直す必要がありますが、実際は多くの企業において未だ対策がなされていないのが現状**です。

文書管理関連の法令等に関する動向



文書管理に潜むリスク

- 多くの企業は**文書管理の潜在リスク**に気づいておらず、大きなリスクを伴う「紙文書のスキャン」や「文書管理システムの導入」を行っています。

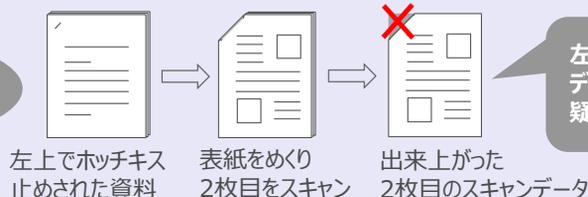
1. 文書管理規定の形骸化

- 規定とは、企業や団体の活動における根拠や指針であり、あらゆる係争時において自らの主張に対する合理性を担保するための極めて重要な文書にも関わらず、形骸化した状態で放置されている事例が多々見受けられます。
 - ✓ 永年保存指定の紙文書 ⇒ 紙は劣化し破損するため、国立国会図書館並みの設備と環境が必要
 - ✓ 電子文書の不適切な管理 ⇒ ファイルサーバが無駄地帯と化し、どこに何があるか分からない、等

2. 紙文書の電子化（ペーパースキャン）に求められる専門性

- 専門知識とノウハウを持たず、プロトコルを無視して漠然と紙を複合機に流して電子化したデータでは、係争時の法的エビデンスと認定されない可能性があり、国内外当局からの情報開示要求や民事訴訟に耐えられないリスクがあります。

スキャンデータが法的エビデンスとして認定されない事例



3. 文書管理システムの導入に対する誤った認識

- 理想的な文書管理の基本設計がないまま漠然と文書管理システムを導入し、失敗する事例が後を絶ちません。システムが自動的に文書管理を便利にしてくれるという誤った認識が原因です。システム導入は、目指すべき文書管理を実現するための「手段」に過ぎず、「目的」ではありません。

文書管理を成功に導く3つのポイント

- 文書管理の目的は、おおむね「係争対策（証拠としての文書保管）」と「業務効率化（円滑な情報共有）」に集約されます。すなわち、必要な人が必要な時に必要な文書の最新版（原本）が取り出せなければなりません。そのためには、「検索性」「原本性」「合理性」の3要素を理解し、文書管理においてどのように達成するかを**あらかじめ設計しておく必要**があります。

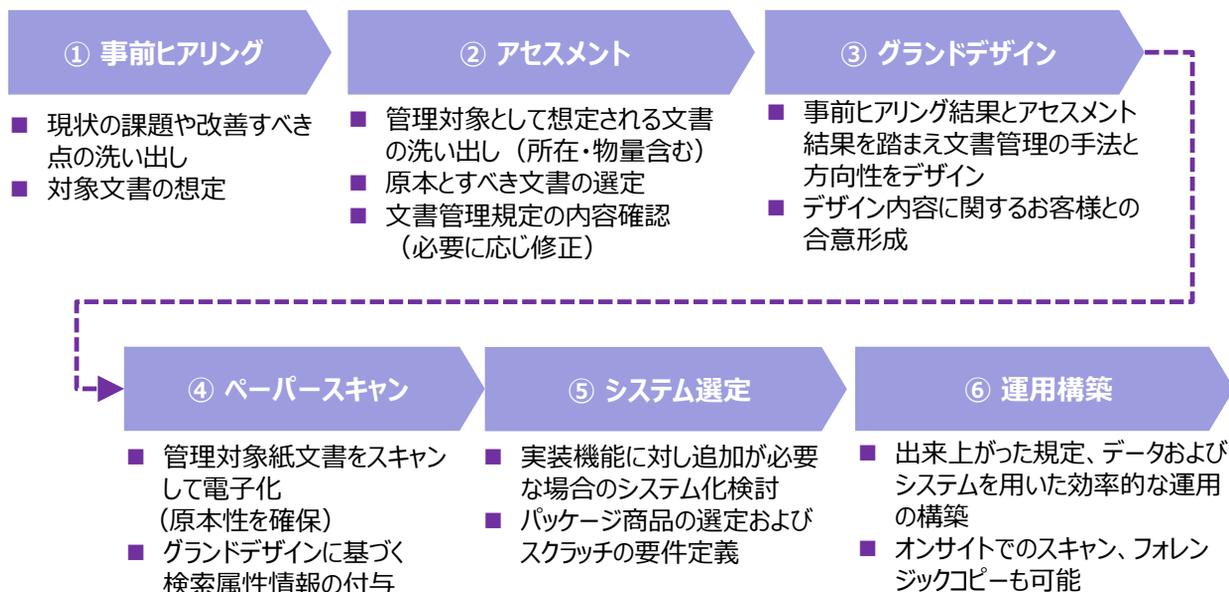
	ポイント	概要	対策例
1	検索性	誰が探しても欲しいものがすぐに見つかる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 紙文書のスキャンデータに対して想定する運用に対応し得る検索属性を付与 ➢ スキャンデータの検索結果から原紙の所在場所を逆引き可能とする
2	原本性	係争時に疑義が生じることのない電子データの作成	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 紙文書スキャンデータは米国DOJ※1や欧州委員会など国内外当局への提示に耐える形で作成 ➢ デジタルフォレンジック※2等により改変不可の形式で電子データを保存
3	合理性	リスク対策と業務効率化を費用対効果を踏まえて実現	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 文書管理規定の見直しと対象文書の選定による理想的な文書管理のグランドデザイン ➢ グランドデザインの要件を満たす運用構築の検討と必要に応じた文書管理システムの選定

※1 Department of Justice 司法省

※2 民事・刑事問わず、係争時の事実認定手段として用いられる電子データの取得（保全）・解析にかかる技術と手順

サービス提供イメージ

- 企業には様々な文書が存在し、文書ごとに検索性・原本性・合理性等の要件は異なります。弊社では文書のアセスメントを実施し、要件をまとめた上で、一定の手法やシステムに依存しないカスタマイズ型ソリューションにて貴社の文書管理をご支援いたします。



株式会社クニエ

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F

TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293

Email: info@qunie.com <https://www.qunie.com>